

例年に無い暑さが続いております。(2015年9月)

酷暑と云われる35℃オーバーの日々は、お盆と共に姿を消したようです。

本当に大変な事象でしたが、他の地域でのように突風や竜巻、或いは豪雨などが生じないわが郷土・尾花沢は、胸を張って誇れる住みやすい街なのですね。

暑さのお陰は、スイカの上々の出来と沢山の売れ行きでしょう。

一方では水不足で悩んだ方々もおられたようで、なかなか全てが上手く収まることは、無いのでしょうか？熊やサルなどの被害もあるようです。



戦後70年の節目の年、実体験した方々の高齢化と共に

経験談などを如何に伝承するかが話題になっているようです。

原爆投下を受けた広島や長崎では、中高生が語り部となるべく、

体験者から一生懸命聞き取り活動をしている映像などがでておりました。

福島原発事故や川内原発の再稼働、そして豪雨や火山活動の活発化等々、

数え上げればきりが無くなりますが、生きていく以上は、誰しものが安全、安心な状態で過ごせることが一番ですし、その様にお膳立てするのが政を司る立場の人々に課せられた使命であると考えます。

いい加減な事の結果を、“想定外の出来事である”という言い訳で終わる事は許されません。



今月から尾花沢での開業の先生が増えました。

これまで中央診療所で仕事をされていた加藤先生が市の中心部に診療所を開いたのです。

私もそうでしたが、彼も尾花沢とはそれまで勤めていらしたということ以外は、

あまり縁のない土地であるはずなのに、この地に開業して、医療を担って下さるということは、

開業途中でお辞めになられた先生がお二人もいらしたことを考えても、とってもありがたい事です。

健康に気を使われて、無理をしないで続けて頂きたいと願っております。



いよいよ“天高く馬肥ゆる秋”です。果物も芋煮もお酒も美味しい。あとは時間を都合するだけ!!どうしましょう、我慢出来なくなる方、ご相談下さい。

最終的には、一緒にしますか？という、とんでもない結論が出ないとも限りませんね。

いくら食べても最低限<体重を増やさない>ようにすること。これがキーポイントですよ。

お元気で、また来月にお会いしましょう。

平成27年9月 院長

清治 邦夫